

① 経営体の概要

- 所在地: 鹿児島県薩摩郡さつま町
- 経営体名: 吉祥庵園芸
- 経営概要: トマト32a(ロックウール栽培21a、袋培地栽培11a)
(定植: 8月 収穫: 10月~7月)、 水稻1ha
- 従業員数: 家族4名、雇用3名(パート)

② 導入技術・システム(商品名・サービス名と企業名)

- 給液システム(スイコウロボ): (株)誠和
- 環境制御装置等(プロファイダー、Next80): (株)誠和

③ 導入の経緯

- 吉祥庵園芸では、平成9年からロックウール培地と平成28年から袋培地での養液栽培により、トマトの生産性向上に取り組んできた。その中で、平成23年に環境制御に係る研修会(福岡県などのトマト農家の現地視察)に参加し、トマト栽培における光合成の重要性、高収量を目指したハウス環境の制御及び栽培管理の重要性を感じ、平成24年に環境モニタリング装置(プロファイダー)を導入し、環境制御の取り組みを始めた。理想とするハウス環境に整えるためには多くの管理労力が必要であったことなどから、平成28年に統合環境制御装置(Next80)の導入に踏み切った。

④ 導入に当たり活用した補助事業等(国、県)

- さつま町認定農業者等支援事業

⑤ 導入してどうだったか(その1 導入前との比較、効果)

- 人間ではできない細やかな管理が24時間可能となり、省力化・負担軽減が図られ、栽培管理に労力を投入できる。
 - ・湿度や日射など複数の要素でハウスを管理できる。
 - ・生育状況、天候に合わせた環境条件設定ができる。
- 生育が良くなった。
 - ・病気が発生しにくくなった(灰色カビ病)。
 - ・単価の高い冬場の収量が増えてきた(導入前の16%増)。
- ハウスを離れても安心。
 - ・スマホでハウスの管理状況を確認・操作できる。

⑥ 導入してどうだったか(その2 改善してほしい点、課題)

- メーカーの基本設定はあるが、自分のハウスの環境(施設・装備、立地条件)に合わせた収量向上のための独自のシステム設定が重要。
- 生育状況の見極めと栽培管理判断のために、生育調査(茎径、葉の大きさ、開花位置等)を実施し、栽培方法の改善(記録、改善、実践)を行っている。
- 今後は、光合成促進技術及び画像で生育調査を行えるシステムの情報収集・活用を行いたい。



スイコウロボ



プロファイダー



Next80